NOVAC　温水循環式フロアマット
らくらく床暖取扱説明書

(NV-ODC004W)

ご使用の前に本紙をよくお読みの上、正しくご利用ください。
本紙に記載した注意事項は、いずれも安全に関する内容です。必ずよくお読みの上、正しくお使いください。また、取り扱い説明書は、大切に保管してください。

● 安全上の注意事項

ご使用の前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

1	● 本体を分解しないでください。発熱、発火、感電、故障の原因となります。 ● ボイラー本体に強い衝撃を加えたり、投げたりしないでください。　故障や火災の原因となります。
2	● ボイラーにはきれいな水道水以外は、注水しないでください。 ● ボイラー本体に給水する場合は、ボイラーの熱が冷めてから給水を行ってください。熱い時にふたを開けると、熱湯が噴き出て、火傷する恐れがあります。
3	● 長期間使用しない場合や、外出する時などは、安全のため電源をコンセントから抜いてください。
4	● 本体およびフロアマットをアルコール、シンナー、ベンジンなどの化学薬品で拭き取り掃除をしないでください。 変色や、変形、熔解などの原因となります。 フロアマットが汚れた場合は、中性洗剤で表面を拭き取ってください。
5	● ボイラー本体を濡らさない(液体をかけない)でください。本体内に水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、発火、感電、故障の原因となります。 ● 風呂場など湿気の多い場所では使用しないでください。発熱、感電、故障の原因となります。 ● 本体が濡れた状態で使用しないでください。感電、発熱、破損の原因となります。 ● 湿気やほこりの多いところ、または高温となる場所には、製品を保管しないでください。故障の原因となります。
6	● 動作中は、赤ちゃんや、小さなお子様をボイラーに近づけないようご注意ください。本体の蓋を開けたり、いたずらしたりすると、熱湯がこぼれ、火傷や、ケガの原因となります。 ● お子様が使用する場合は保護者が取扱い方法を教えてください。また使用中においても指示通りに使用しているか、確認を行ってください。
7	● ボイラー本体は安定した平らな場所に置いて、使用してください。 また、布団や布等でボイラー本体を覆わないでください。熱がこもり、発熱や火災の原因となります。 ● 濡れた手で本体を操作しないでください。ケガや感電、故障の原因となります。 ● 動作中は、本体を移動させないでください。転倒したり、本体を落下させたりすると、ケガや感電、故障の原因となります。 ● 本製品をフロアマット以外の目的で使用しないでください。漏水、破裂、故障の原因となります。 ● フロアマットの上には、重量物、机、椅子、テーブル、踏み台、鋭利なものは置かないでください。内部の温水循環ホースの破損や、温水循環ホースが潰れたことによって、ボイラー本体の故障の原因になります。
8	● 電源コードを踏みつけたり、機器や家具等の下敷きにしたりしてコードが傷まないようにしてください。 感電、ショート、発火の原因となります。 万が一コードが傷んだ場合は、使用を中止してください。 ● 電源ケーブルなどをショートさせないでください。 機器の故障や、ケガの原因となります。 ● 電源コードを束ねた状態で使用せず、必ず伸ばした状態で使用してください。発熱、発火、感電、故障の原因となります。 ● ボイラー本体は、通行に支障がない場所に設置するようにしてください。 万が一、ボイラー本体につまずいたりしますと、ケガやボイラー本体の故障の原因となります。
9	● 使用中、または保管時に異臭、発熱、変色、変形など、今までとは異なる状況が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。 ● 引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。
その他 10	● 温度を上げすぎないようにし、熱いと感じたら、温度を下げるようにしてください。 健康を害する可能性があります。 ● 長時間にわたり温度を上げすぎた状態で使用しないでください。 ● 長期間使用しない場合は、フロアマット、およびボイラー内の水を完全に抜き取った後、保管してください。 ● 水は、必ずワンシーズンごとに入れ替えてご使用ください。

● 製品の仕様

ボイラー

水タンク容量	約 1.5L
設定温度	5～70℃　/おやすみモード　36℃ ※注)冷却機能はありませんので、設定温度に関わらず、水温は常温より下がりません。
電源	入力　100V　50～60Hz（日本国内仕様）
消費電力	最大　430W
リモコン	単４電池２本　(動作テスト用２本同梱) / ＋ドライバ(電池交換用)

マット

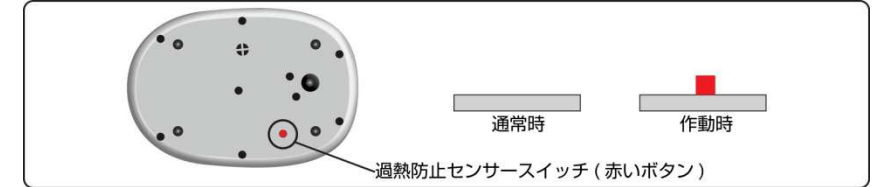
カラー	木目調フローリング模様
材質	表/裏面　　塩化ビニール　※裏面すべり止め加工済み
耐荷重	１平方センチメートル当たり、最大 2kg
サイズ	約３畳タイプ　 約 180cm X 240cm X 2cm
その他	水抜き用手押しポンプ付属

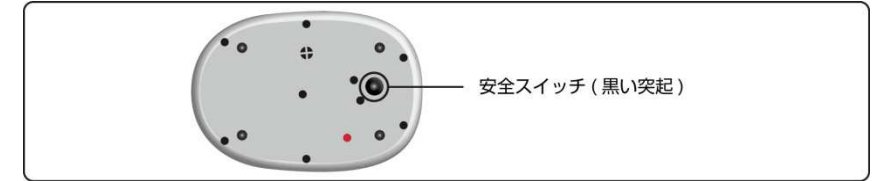
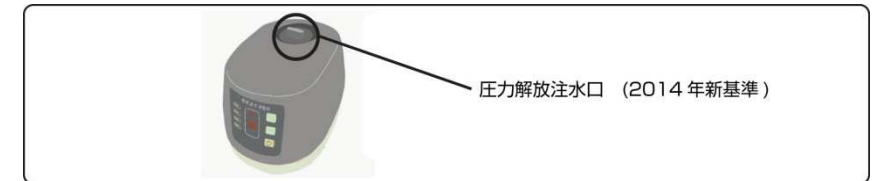
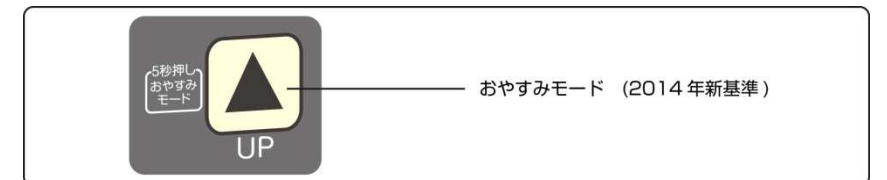
- マットには重量物を載せないでご使用ください。温水循環ホースが潰れ温水の流れが悪くなります。
- 気温や床の温度などにもよりますが、マット表面温度が温まるまでには 15～20 分程度かかります。
- マット表面のシワは、使用過程において徐々に伸びていきます。

● らくらく床暖の安全設計と特徴

【新基準に基づいた安全設計】

- ボイラーは、日本の安全基準、および生産国である韓国の政府が法で定めた 2014 年度安全基準に基づいて生産されています。

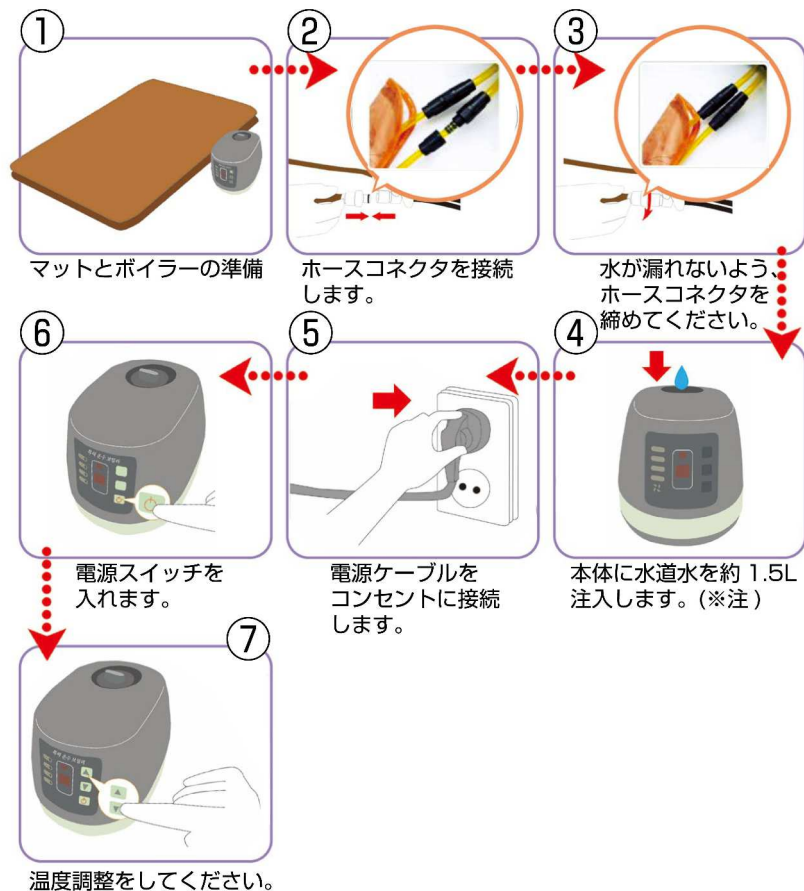
➢ 水タンク；　　　　水タンクの接続部は完全密着しており、機器内への水漏れを防止しています。
➢ 水不足センサー；　水タンク内の水量を正確に検知し、前面 LED で水量をお知らせします。
➢ 温度センサー；　　水タンク内の温度を管理し、設定した温度を維持します。
➢ 過熱防止センサー：　ヒーターが異常過熱した場合、自動的に電源を遮断し、安全性を確保します。

※センサー作動時は本体裏面のスイッチ(赤いボタン)が突起します。スイッチを押し戻すと解除します。

➢ 安全スイッチ：　ボイラー本体を移動したり、本体を転倒させてしまったりした際に自動的に電源を遮断することで、安全性を確保します。

➢ 圧力解放注水口；　水を加熱した際のタンク内圧力を逃がします。
水を加熱した際に発生するタンク内の圧力を逃がすことで、タンクの破裂を防止します。
（※2014 年新基準）

➢ おやすみモード；　おやすみモードに設定することで、上り過ぎた水温を人肌程度の 36℃までゆっくりと下げます。これにより、就寝時の低温火傷を防止します。(※2014 年新基準)

【特長】

- 100%韓国製、2002 年発明賞受賞、ポンプ、ヒーター、止水式ホース結合コネクタは特許を取得、国際基準規格である「ISO9001」の審査登録された韓国の工場で製造された安心安全な製品です。
- フロアマット部は、電気コイル式ホットマットとは異なり、温水式のため電磁波が発生せず、体への電磁波の影響がない。
  ※ボイラーからは微量に発生しますが、30cm 以上離れると影響はなくなります
- 水の補充はおおよそ 2～3 ヶ月に一回の補充ですみます。
  ※水不足ランプが点灯した場合は、すみやかに水を補充してください。

● ボイラー本体とリモコンボタン表示について

	【ボイラー本体パネル】 ※【注意事項】 本体パネルの操作は、タッチパネルです。各スイッチ部を強く押しすぎますとパネルが凹み、感度が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。 ① 電源； ボイラー電源の ON/OFF ② ▼DOWN； 設定温度を下げる。 ③ ▲UP； 設定温度を上げる。5 秒以上長押しでおやすみモードへ移行します。 ④ おやすみモード； おやすみモード時に点灯します。" UP" または" DOWN" ボタンを押すと解除します。 ⑤ 水量； ボイラー内の水量を表示。 ⑥ 水不足； ボイラー内の水不足時に点灯し警告音が鳴ります。 ※点灯時はすみやかに水を補充してください。 ⑦ ヒーター； ヒーター動作中に点灯。
	【リモコン】 ⑧ 電源； ボイラー電源の ON/OFF ⑨ UP； 設定温度を上げる。 ⑩ DOWN； 設定温度を下げる。 ※リモコン操作は、リモコンを本体前面のリモコン受光部に向けて操作を行ってください。

● 設置手順

【注意事項】

※ 水を注入する前にボイラーの電源は入れないでください。空焚きとなり、ボイラーの故障の原因となります。

※ ボイラーには直接熱湯を注入せず、常温のきれいな水道水を使用してください。
水道水以外の液体や、地下水、汚れた水等を使用しますと、機器の故障の原因となります。

※ 水を注入する際は、ボイラーが冷めた状態で行ってください。

※ フロアマット内の空気が抜けるまでの間（約 20 分程度）は、フロアマットとボイラーは同じ高さに置いて水を循環させてください。その後は、ボイラーの位置はフロアマットと同じ高さ、またはフロアマットより下の位置（50ｃｍ以内）に設置してください。

※ 水が足らない場合、電源を入れると警告ランプが点灯しますので、その場合は水を補充してください。

※ 作動中、ボイラー内の水は熱くなりますので、小さなお子様が手を入れないようキャップをしっかりと閉めてください。

※ ボイラー内の水を抜く際は、ボイラー内の水が冷めてから、注水口のフタを開け、ボイラーを逆さにして抜いてください。

※ フロアマット内の水抜きは、市販の手押し空気ポンプなどをマットのホースに挿し、空気の圧力をかけて抜くと簡単に抜くことができます。

● 温度の調整方法と、おやすみモード

【温度調整】

1. ボイラーの電源スイッチを押し、電源を入れ、水温表示ディスプレーに表示された温度が、現在のボイラー内のお湯の温度です。
2. 本体の UP ボタン(▲)または､リモコンの UP ボタンを押すと、設定温度を 1 度単位で上昇させることができ、下げる時は本体の DOWN(▼) ボタン、またはリモコンの DOWN ボタンで下げることができます。
温度調整の最大は 70℃です。

【おやすみモードの設定】

おやすみモードは、就寝時の温度を 36℃と人肌程度の温度に設定し、就寝時の過度の熱さや、低温火傷を防ぎます。

十分に暖まった後、就寝する際に設定してください。

おやすみモードを設定するには、本体の UP ボタン(▲)を 5 秒以上触れてください。

設定が完了すると、本体左上の「おやすみモード」のランプが点灯します。

※おやすみモードの設定は、リモコンで設定することはできません。

【おやすみモードの解除】

本体またはリモコンの UP、または DOWN を一度押すと、おやすみモードは解除されます。

※水温表示ディスプレーに表示された温度は、ボイラー内の水温であり、実際のフロアマット上の温度ではありません。

● 故障かな？と思ったら。

電源が入らない。	● 電源プラグが挿し込まれていることを確認してください。 ● 電源スイッチを正しく押しているか確認してください。
設定した温度に水温が上がらない。 (表示される温度が設定した温度にならない) 例）最大 70℃に温度設定しても、ボイラーの表示温度が 55℃を表示している。	● 水不足ランプと同時に警告音がなる場合、ボイラー内に設定温度は、水をヒーターで加熱する際の最大温度になり、表示される温度はタンク内の水温になります。 表示温度は、ヒーターで加熱された温水は、マットを循環することで放熱し、温度が下がってタンク内に戻ります。 このタンク内に戻った温度を示していますので、異常ではございません。
フロアマットが温かくならない。 ボイラーの温度が上がらない。	● ホースが折れたり、フロアマットの上に重いものなどを置いていないか確認してください。 ● ボイラー本体裏面の過熱防止センサースイッチ（赤いスイッチ）を軽く押してから、電源を入れ直しておためしください。
購入した製品に水が残っています。	● ボイラーやホースに水の痕跡があるのは、生産工場にて製品出荷前に全数検査を行っているためです。異常ではございません。
電源を切ってもボイラーがしばらく作動しています。	● 電源が消えても循環ポンプは 1 分程度作動します。異常ではございません。

● 製品保証とアフターサービス。

保証期間内(製品の使用の有無にかかわらず、ご購入日より 1 年以内に、日本国内で正常な使用状態でご使用の場合に限り、品質を保証しております。

万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店への持ち込み、または、後に記載の問い合わせ先までお送りください。

ただし、次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。

- 保証書をご提示いただけない場合。
- 保証書の所定の項目が未記入、または、購入年月日等の書き換え、または訂正された場合。
- 日本国外での使用による故障。(海外での電源変圧器の使用を含む)
- 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
- 故障原因が本製品以外の機器に起因する場合。
- お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
- お客様の故意過失による破損。
- 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損害。
- オークション等個人売買により取得された場合。

●製品に関しての問い合わせ先

販売元；株式会社ノバック
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-6-12 曙ビル 2F
TEL； 03-5687-7900 （受付時間 AM10:00～PM5:00）
但し、土・日曜日、祝祭日および夏季・年末年始は休業。